

8.2 NACCS へ新規に参加する場合の接続試験の準備等

接続試験に際し各利用者は自社サーバの準備のほか、ハードウェア及びソフトウェア等を準備する必要がある。表 8-2-1 に利用者が準備するハードウェア及びソフトウェア等を示す。

表 8-2-1 各利用者が準備するハードウェア及びソフトウェア等

| ハード、ソフト等 | 説明事項 |
|--|--|
| ①NACCS 接続ルータ | 利用者からの通信回線申込みを受けて、NACCS センターが手配し、準備する |
| ②通信回線 | 利用者からの通信回線申込みを受けて、NACCS センターが手配し、準備する |
| ③LAN ケーブル等 | NACCS 接続ルータと自社システムを接続するため ○GW(SMTP/POP3 または SMTP 双方向) ……LAN ケーブル等、利用者側にてご準備いただく設備 |
| ④NACCS センターping ポイントの IP アドレス (接続試験用含む) (注) | 利用者からの利用申込みを受けて、NACCS センターが郵送またはメールにて通知する |
| ⑤NACCS センターの DNS 機能の ping ポイントの IP アドレス (注) | |
| ⑥NACCS センターの DNS 機能の IP アドレス | |
| ⑦NACCS センター側サーバのドメイン名 (接続試験用含む) | |
| ⑧利用者側メールアドレス (接続試験用含む) (注) | |
| ⑨利用者コード、パスワード (接続試験用含む) | |
| ⑩業務仕様書 | NACCS センターのホームページに公開されているので、必要な業務仕様書をダウンロードして利用する |
| ⑪接続試験の申込み | 接続試験の実施にあたっては、事前に、利用者から接続試験の申込みを行う。当該申込みに基づき、NACCS センターで試験日程等各種調整を行う。試験実施に係る詳細事項については、上記各種調整の際に NACCS センターから通知する |

(注) ドメイン名、メールアドレスは、利用者の利用する処理の違いによって、NACCS センターから各サーバに対応したドメイン名/メールアドレス (※) を通知する。

(※) なお、以下の処理方式を使用する利用者については、下記の情報が通知される。

○管理資料情報取出処理 (自社システム) 利用者

『ドメイン名 (接続試験用含む)』、『利用者側メールアドレス (接続試験用含む)』の代わりに、『センター側 URL (接続試験用含む)』を通知される。